

神宅小学校 学校だより

校訓『自立・勤勉・協同』

学校教育目標



心身ともに健康で、よりよく、
たくましく生きる児童の育成

あけまして おめでとうございます！

昨年は、コロナ禍での新しい生活様式の中で教育活動をできるだけ取り戻そうと、七夕集会、ゲストティーチャーによる授業、関西への修学旅行などを再開しました。また、普段の授業で積極的にタブレットを使用するなど、学習の幅が広がってきました。

さて、2023年が始まりました。コロナ禍も新たなフェーズに入ることが予想されます。「変えるもの」「変わらないもの」をよく見極め、子ども達も教職員もチャレンジする1年にしていきます。保護者の皆様、地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

人権学習 ～4・6年生～



12月7日（水）、あいポート徳島人権啓発推進員の久保 修先生をお迎えし、4・6年生を対象に人権学習を行いました。

先生は、ご自身の経験を踏まえた話や目が不自由であることを疑似体験するワーク等を通して、全ての人がコミュニケーションをとることの大切さやその心の在り方を教えてくださいました。左の写真は、気さくな人柄の久保さんの周りに子ども達が集まり、いろいろな話をしている休憩時間の様子です。

日本では、多様化社会の遅れが問題となっています。2021年の東京パラリンピックに向けたバリアフリー化に際し、国連から日本の障がい者施策の改善を勧告され、また世界経済フォーラムの「男女格差報告22年度版」では、日本は調査対象の146カ国中116位だったなど、今後の課題が明らかとなりました。子ども達には、久保さんとの出会いから得た多くの気づきを将来にわたって大きく育て、周囲のために行動できる人になってほしいと思います。

校内マラソン大会

12月15日（木）に校内マラソン大会を実施しました。天候にも恵まれ、全員完走することができました。沿道には、地域の方や保護者の方が多くこられ、子ども達を見守り応援くださいました。



スポーツ庁が公表した本年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果によると、小中学校の男女ともに08年度の調査開始以来、最低を記録したとのこと。これは、デジタル機器に触れる機会の増加とコロナ禍の活動制限による運動機会の減少が背景にあるそうです。

2023年は、マラソン大会や運動会等の行事の充実、郡の陸上や水泳大会への参加を促進するなど、子ども達の運動への興味関心を高め体力の向上を図っていきます。

